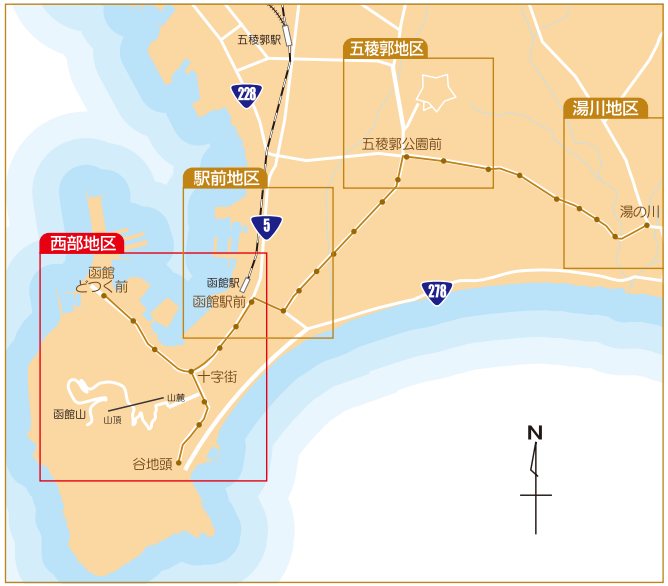
函館全体エリアマップ



西部地区

スタート地点までのアクセス

JR函館駅から1.4km（徒歩20分）
市電（函館駅前より函館どつく前・谷地頭行き）5分

函館 知ってる？知ってる？

函館の坂～南部坂～

ロシアの度重なる接近に危機感を抱いた幕府の命令で、北方警備のためにと派遣された南部（盛岡）藩の総陣屋がここに設けられていました。その陣屋へと続く坂道であったことからこの名が付けられています。住民の間では坂の上にNHK放送局があったことから「放送局の坂」や「NHKの坂」と呼ばれ、また下には昭和44年（1969）まで丸井今井百貨店があったことから「丸井の坂」とも呼ばれていました。

函館市電路線図

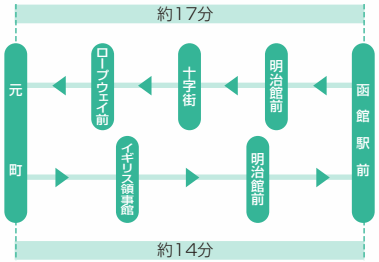
湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。

乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な！ 市電1日乗車券販売中！ 大人600円・小人300円
お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ！

［函館市企業局］函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/
ケータイから各電停の時刻表も見られる！

「元町・ベイエリア周遊号」 元町観光にとっても便利な循環バス（バス停は主な停留所を記載）
「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。



大人210円・小人110円

函館バス 1日乗り放題券 バス車内にて販売中！
大人800円・小人400円

［函館バス株式会社］
函館営業所／函館市高盛町10番1号
TEL.0138-51-3135

函館市公式 観光情報サイト "はこぶら"
https://www.hakobura.jp/

フェスティバルタウンはこだてサイト 函館イベントガイド
HAKODATE EVENT GUIDE
https://event.hakobura.jp/

発行・お問合せ先
HAKODATE 函館市観光部 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号 TEL.0138-21-3383

（2020年1月発行）

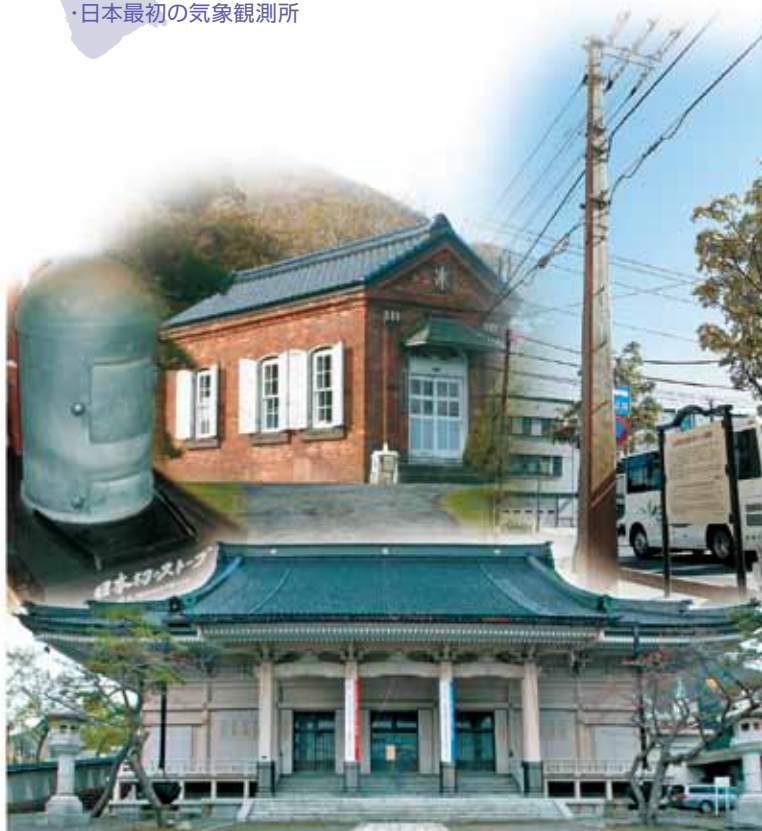
歴史 7

函館まちあるきマップ

箱館はじめて物語
～函館で探せ！日本はじめて探偵団～

所要時間 70分　距離 1.9km　消費カロリー 210kcal

- 函館市地域交流まちづくりセンター
- 日本で最初に作られたコンクリート寺院
- 日本人設計最初の配水所
- 日本最古のコンクリート電柱
- 日本最初のストーブ
- 日本最初の気象観測所



箱館はじめて物語 ～函館で探せ!日本はじめて探偵団～

所要時間 70分　距離 1.9km　消費カロリー 210kcal　※消費カロリーはおおよその目安です。

スタート! 十字街電停（函館駅前から1.4km 市電／5分 徒歩／20分）
→ 130m 3分 → 1 函館市地域交流まちづくりセンター
→ 350m 6分 → 2 日本で最初に作られたコンクリート寺院（東本願寺函館別院）
→ 250m 5分 → 3 日本人設計最初の配水所（元町配水場）
→ 800m 14分 → 4 日本最古のコンクリート電柱（末広町16四角い電柱）
→ 150m 3分 → 5 日本最初のストーブ（箱館高田屋嘉兵衛資料館内）
→ 150m 3分 → 6 日本最初の気象観測所（現金森赤レンガ倉庫）ゴール!!

1 函館市地域交流まちづくりセンター

大正12年（1923）創建の丸井今井百貨店函館支店の建物を、外観を残しながら安全性のための改修を施して、再生したもの。その当時を偲ぶものとして、昭和の初め頃につくられた東北以北最古の手動式エレベーターが残っており、今でも運転可能で実際に乗ることができる。

開館 9:00～21:00 休 年末年始

2 日本で最初に作られたコンクリート寺院（東本願寺函館別院）

大正4年（1915）伊藤平左衛門九世の設計により建立された日本で最初の鉄筋コンクリート寺院建築。その後の函館の不燃建築普及にも影響を与えた。平成19年（2007）に国の重要文化財に指定。

3 日本人設計最初の配水所（元町配水場）

函館の水道は日本人が設計したものとしては日本最古のもので、西洋式近代水道のさきがけとして整備された。明治22年（1889）完成したこの配水場は現在も現役で、約1万人に函館のおいしい水を供給している。

4 日本最古のコンクリート電柱（末広町16四角い電柱）

大正12年（1923）に建立し現存するコンクリート電柱では日本最古のもの。同じ形の電柱が近くにもう一本あることから夫婦電柱とも呼ばれている。このコンクリート製の電柱も大火の多いことから作られた。

5 日本最初のストーブ（箱館高田屋嘉兵衛資料館内）

安政3年（1856）に日本最初のストーブが函館で作られ、資料館ではその復元ストーブを見ることができる。また、館内には司馬遼太郎の小説「菜の花の沖」の主人公、高田屋嘉兵衛にまつわる関連資料が展示されている。

開館 9:00～17:00 入場料 大人300円(小中学生100円)
休 毎木曜（祝日の場合は翌日休）・年末年始、冬季休館12/29～3/31

6 日本最初の気象観測所（現金森赤レンガ倉庫）

明治5年（1872）に函館在住のイギリス人事業家ブラキストンから測量・機械・測候・博物学を学んだ福士成豊が自宅に観測機器を設置し、気象の観測を始めたのが日本で最初の気象観測所での気象観測の始まり。その場所は現在、金森赤レンガ倉庫がある場所で飲食店や土産屋、雑貨店等が並ぶ観光スポットにもなっている。

まだある「箱館はじめて物語」

明治12年（1879）に開園した函館公園は、日本で最初に公民パートナーシップ方式により造成された由緒ある公園。当時函館在職中のイギリス領事ユースデンの「病人には病院が必要なように、健康な人にも休養する場所が必要」という呼びかけに多くの市民が賛同し造成されたもの。函館の花見の名所のひとつ。（桜の見頃は4月下旬～5月上旬）